

# **POPCHAT@Cloud**

## **認証@クラウド**

### **ご利用マニュアル**

**第 2.2.1 版**

2020 年 11 月

**POPCHAT 株式会社**

## 目次

目次	2
1. POPCHAT@Cloud について	4
<b>1. POPCHAT@Cloud の概要</b>	4
2. POPCHAT 機器側の設定	5
<b>1. POPCHAT@Cloud サービス設定</b>	5
2. 認証上限監視	6
3. 認証方式の設定	6
<b>4. POPCHAT@Cloud ログイン/ログアウト</b>	8
5. ログイン情報の確認/変更	9
6. ゲートウェイ設定の確認/変更	9
7. 「認証」と「接続」の考え方	10
8. 認証設定の確認/変更	12
9. シスログ転送先サーバ設定の確認/変更	13
10. 認証画面設定の確認/変更	14
11. 認証画面テンプレートのダウンロードとカスタマイズ	14
12. 認証画面テンプレートのアップロード	15
3. 認証方式1－メンバー認証	16
1. メンバー認証ご利用にあたって準備が必要なもの	16
2. メンバー認証サービス設定	17
3. メンバー認証時の画面遷移	17
4. 認証方式2－OPEN-ID 認証	18
<b>1. OPEN-ID 認証の設定</b>	18
<b>2. OPEN-ID 認証画面の表示と操作</b>	19
5. 認証方式3－アンケート認証	20
1. アンケート認証の設定	20
2. アンケート認証画面の表示と操作	21
6. 認証方式4－メールアドレス認証(本人確認)	22
1. メールアドレス認証の設定	22
2. SMTP サーバ設定	22
3. メールアドレス認証画面と操作	24
7. 認証方式5－コールバック認証(SMS認証)	25

1. コールバック認証の設定	25
2. コールバック認証画面と操作	26
8. 認証方式6ーアクセス ID 認証	27
1. アクセス ID の接続方式について	27
2. アクセス ID の発行について	28
3. アクセス ID 認証の認証保持について	29
4. アクセス ID の削除と認証保持について	31
5. 発行アクセス ID の印刷	31
9. 認証保持	32
1. 認証保持	32
10. 接続状況の確認	33
1. 接続状況	33
11. 接続履歴	34
1. 接続履歴	34
12. 災害時モードの利用 (LG-POPCHAT シリーズのみ)	35
1. 災害時用の認証方式設定	35
2. 災害時モードへの切り替え方法	36

## 1. POPCHAT@Cloud について

### 1.1. POPCHAT@Cloud の概要

POPCHAT@Cloud では、お客様のご利用方法に合わせて POPCHAT 本体の機能に、以下のクラウドサービスを付加することで、認証/ログ管理に関する柔軟性・拡張性を高めることができます。

#### 1. 認証@クラウド)

No	名称	内容
1	認証 MAX	同時に保持することができる認証の上限数を増やします。
2	マルチ認証ローミング	複数の POPCHAT 間で認証情報を共有します。
3	マルチ認証方式	管理者が以下の認証方式ラインナップの中から複数の認証方式を組み合わせて提供し、接続する本人が任意の認証方式を選択可能とします。
	- メンバー認証	お客様側で準備された認証システムと連携する認証方法です。
	- OPEN-ID 認証	Facebook や Google など、SNS アカウントを利用した認証方法です。
	- アンケート認証	アンケートに回答することで認証する認証方法です。
	- メールアドレス認証	エンドユーザがメールアドレスを登録する認証方法です。(簡易/本人確認あり)
	- コールバック認証	特定の電話番号へ発信し SMS で返信された URL により認証する認証方法です。
	- アクセス ID 認証	アクセス ID をユーザーへ配布し認証する認証方法です。
4	シスログ転送	お客様側で準備されたシスログサーバに対して、認証情報等のログを転送できます。 OPEN-ID 項目やメールアドレス項目など認証時の個人情報を含めて転送します。

#### 2. シスログ@クラウド)

No	名称	内容
1	各種ログ (8種類のログ)	POPCHAT および POPCHAT@Cloud から次のログを月次処理でフォーマット化し、CSV 形式でダウンロード可能です。認証ログ/DHCP ログ/トラフィックログ等。

※ POPCHAT@Cloud をご利用いただくためには、事前のお申込みが必要です。

※ 別途「サポート@クラウド」においても、上記サービスのうち一部限定的に利用可能となっています。

※ 設定の確認、変更には『POPCHAT 納品情報/POPCHAT@Cloud アカウント登録票』に記載されているログイン ID およびパスワードが必要です。

※ POPCHAT@Cloud を利用する際は、POPCHAT 本体に、次項「2. POPCHAT 機器側の設定」に従って、あらかじめ設定を行う必要があります。

以下、本マニュアルでは、認証@クラウドのサービスご利用方法について記載しています。

## 2. POPCHAT 機器側の設定

**POPCHAT@Cloud** を利用するためには、**POPCHAT** 機器側にもクラウド連携する設定が必要です。ここでは、**POPCHAT** 機器本体への設定項目について記載しています。

### 2.1. POPCHAT@Cloud サービス設定

**POPCHAT@Cloud** のサーバ(クラウド認証エンジン)を設定します。この設定を行うことで、ご利用中の **POPCHAT** がクラウド連携を開始することができます。

設定方法)

**POPCHAT** 管理画面メニュー

「接続管理」→「@Cloud サービス」

設定項目)

No	名称	内容
1	アカウント ID	<b>POPCHAT@Cloud</b> のアカウント ID を指定します。
2	パスワード	<b>POPCHAT@Cloud</b> のパスワード を指定します。
3	サーバアドレス	<b>POPCHAT@Cloud</b> のサーバ(クラウド認証エンジン)のアドレスを指定します。
4	サーバ FQDN	<b>POPCHAT@Cloud</b> のサーバ(クラウド認証エンジン)の FQDN を指定します。
5	https を使用するか	<b>POPCHAT@Cloud</b> の認証画面を、https で表示させる場合、チェックします。

※ **POPCHAT** 管理画面ログイン手順は、別添「**POPCHAT** 製品マニュアル」を参照ください。

※ アカウント ID、パスワードが正しくない場合、サーバアドレスは設定されません。

※ 本設定により、**POPCHAT@Cloud** サービス(ゲートウェイ)に、当該 **POPCHAT** が自動登録されます。

※ アカウント ID 等の情報は、『POPCHAT 納品情報/POPCHAT@Cloud アカウント登録票』を参照ください。

## 2.2. 認証上限監視

POPCHAT@Cloud を使用すると、保持できる認証(端末)数はお申込みいただいている「認証 MAX」の値で管理されます。認証 MAX は、エンドユーザの利用者数の増減にあわせて変更することが可能です。(別途お申込みが必要です。販売会社にお問い合わせください。)

確認方法)

POPCHAT 管理画面メニュー

「ネットワーク監視」→「監視状況」

■監視状況					
ホスト	サービス	状態	チェック時刻	状況説明	
_U00100030OP	[Net] ActiveUser	OK	03-14-2013 18:33:27	1/1	ActiveUser OK - active 0 users
	[Net] AuthLimit@Cloud	OK	03-14-2013 18:32:52	1/1	AuthLimit@Cloud OK - 3
	[Net] DNS	OK	03-14-2013 18:31:17	1/3	OK DNS - 192.168.10.254 reply answer
	[Net] Session	OK	03-14-2013 18:33:42	1/1	Session - (28)
	[Net] Traffic	OK	03-14-2013 18:33:07	1/1	Traffic - TX 0bps, RX 0bps

監視項目と監視内容)

No	監視項目	監視内容	アラートの閾値
1	[Net] AuthLimit@Cloud	認証された利用者数 (@Cloud サービス)	お申込みいただいている認証 MAX の値に達するとアラート発報されます

※ 認証保持の上限は POPCHAT@Cloud で管理されますが、同時に利用可能な端末接続数は POPCHAT の“最大認証数”に依存しますのでご注意ください。

## 2.3. 認証方式の設定

ご利用中の POPCHAT の認証方式に「@Cloud サービス認証」を選択する必要があります。この設定によって、POPCHAT 本体側ではなく POPCHAT@Cloud 側にて、エンドユーザ端末は認証処理されることとなります。

設定方法) 基本接続設定で制御している場合

POPCHAT 管理画面メニュー

「接続管理」→「認証方式」

■基本接続設定

※は必須項目ですので必ず入力して下さい

認証方式※	@Cloudサービス認証 ▼
課金金額	フリー認証(認証画面あり) フリー認証(認証画面なし) アクセスID認証
	@Cloudサービス認証 Radius認証

設定方法) 接続ポート別に認証方法を設定している場合

POPCHAT 管理画面メニュー

「接続管理」-「接続ポート設定」

■接続ポート設定 (ラベル・接続設定)

※は必須項目ですので必ず入力して下さい

接続ポート※	40
ポートラベル※	40

☒ 以下項目を個別に設定する

認証方式※	@Cloudサービス認証 ▼
課金金額	フリー認証(認証画面あり) フリー認証(認証画面なし) アクセスID認証
	@Cloudサービス認証 Radius認証

※POPCHAT にて@クラウドサーバのアカウント ID・パスワード、サーバ情報を設定してから、認証方式に「@クラウドサービス認証」が表示されるまでに 15 分程度時間が掛かる場合があります。

(@クラウドサーバとの同期時間が必要なため)

## POPCHAT@Cloud（基本設定）

**POPCHAT@Cloud** は **POPCHAT** 本体だけでは実現できない様々な認証方法を利用することができます。ここでは、利用開始までの基本的な設定項目を記載しています。

### 2.4. POPCHAT@Cloud ログイン/ログアウト

Webブラウザで**POPCHAT@Cloud** のポータルサイト <https://management.popchat.jp/> へ接続します。

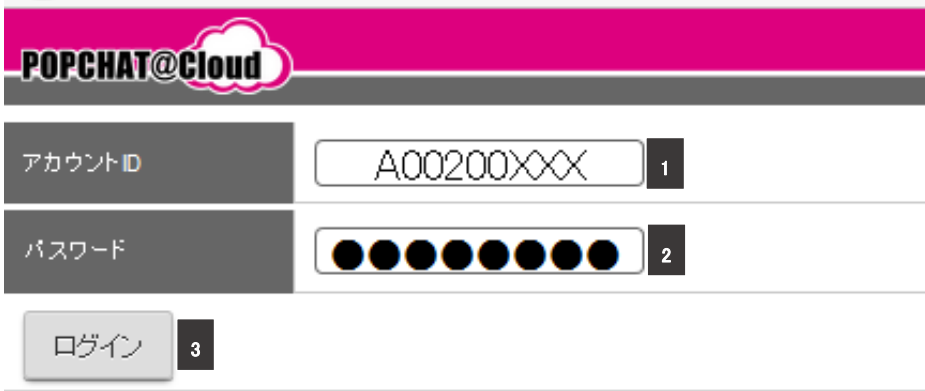
入力画面が表示されますので、**POPCHAT@Cloud** のアカウントID を入力して「送信」ボタンを押してください。

**POPCHAT@Cloud** のログインページまたは新旧管理画面へのボタンが表示されましたら、アクセスする管理画面ボタンをクリックしてログインページを開いてください。

**POPCHAT@Cloud** へのログイン/ログアウトは以下のとおりです。

ログインページの操作方法）

**POPCHAT@Cloud** へのログイン（ID・PASS を入力）



設定項目）

No	名称	内容
1	アカウント ID	<b>POPCHAT@Cloud</b> のアカウント ID を入力します。（A00700XXXのアカウントもあります）
2	パスワード	<b>POPCHAT@Cloud</b> のログインパスワードを入力します。
3	ログイン	アカウント ID/パスワードを入力し、クリックします。

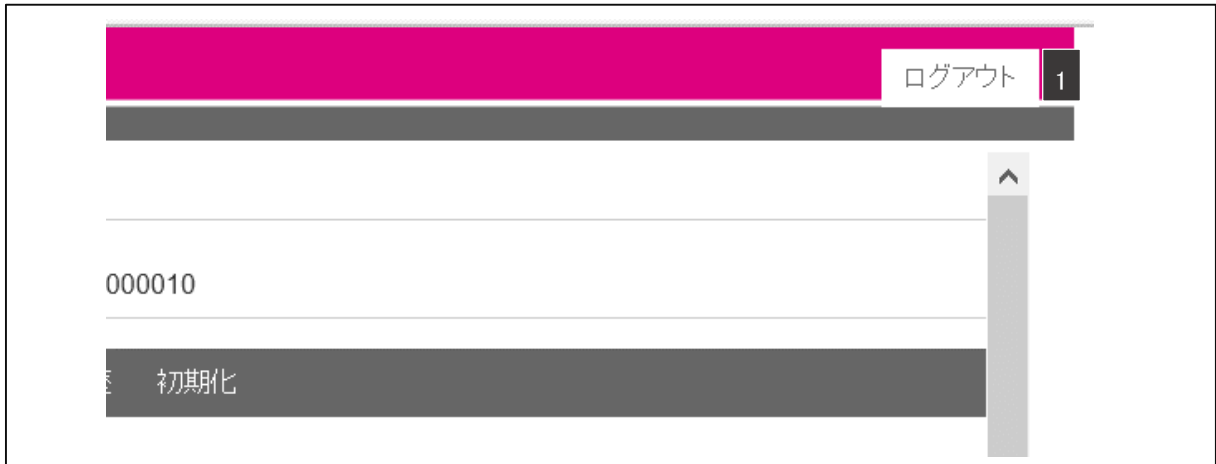
※ アカウント ID 等の情報は、『**POPCHAT** 納品情報/**POPCHAT@Cloud** アカウント登録票』を参照ください。



ログアウト方法)

**POPCHAT@Cloud** 管理画面メニュー

「画面右上」→「ログアウト」ボタン押下



No	名称	内容
1	ログアウト	<b>POPCHAT@Cloud</b> からログアウトします。

## 2.5. ログイン情報の確認/変更

**POPCHAT@Cloud** へのログインパスワードの確認および変更が可能です。

確認・設定方法)

**POPCHAT@Cloud** 管理画面メニュー

「左メニュー」→「アカウント情報」

The screenshot shows the 'ログイン情報' (Login Information) form. It has three input fields: 'アカウントID' (Account ID) with the value 'A00100002', 'パスワード' (Password) with the value 'sample\_sample', and 'パスワード(確認)' (Password (Confirmation)) with the value 'sample\_sample'. A black square containing the number '1' is positioned to the right of the password fields.

設定項目)

No	名称	内容
1	パスワード	<b>POPCHAT@Cloud</b> サービスのパスワード を指定します。

※変更する場合は画面最下部「更新」ボタンを押下してください。

## 2.6. ゲートウェイ設定の確認/変更

**POPCHAT@Cloud** の設定を共有する **POPCHAT** のゲートウェイ ID を確認することができます。**POPCHAT** 本体

に「2.1 POPCHAT@Cloud サービス設定」を行うことで、自動的にゲートウェイ ID として追加されます。

確認・設定方法)

POPCHAT@Cloud 管理画面メニュー

「左メニュー」→「認証設定」→「コンテンツ内メニュー」→「ゲートウェイ」

認証設定 ゲートウェイ 認証画面 認証保持 接続状況 接続履歴 トークン 初期化				
新規登録				
No	ゲートウェイID	設置場所	更新	削除
1	U00300073		更新	削除

認証設定 ゲートウェイ 認証画面 認証保持 接続状況 接続履歴 トークン 初期化				
*は必須項目ですので必ず入力して下さい。				
ゲートウェイID *	<input type="text" value="U00300073"/>	1		
設置場所 *	<input type="text" value="sample01"/>	2		
更新				

設定項目)

No	名称	内容
1	ゲートウェイ ID	グループに登録された <b>POPCHAT</b> のユーザーID
2	設置場所	<b>POPCHAT</b> の設置場所を管理するのにご利用ください。

※ 登録可能な **POPCHAT** の数は、マルチ認証ローミング上限台数までです。

## 2.7. 「認証」と「接続」の考え方

**POPCHAT@Cloud** では「認証」と「接続」を以下のように定義しています。

**認証**: エンドユーザの認証情報を保持している期間。0:00 を区切りとした1日単位で管理します。この認証が保持されていない端末は、次の「接続」ができない仕様となっています。(認証が切れても、その時点で接続している場合は接続時間の間まで接続がおこなえます。)

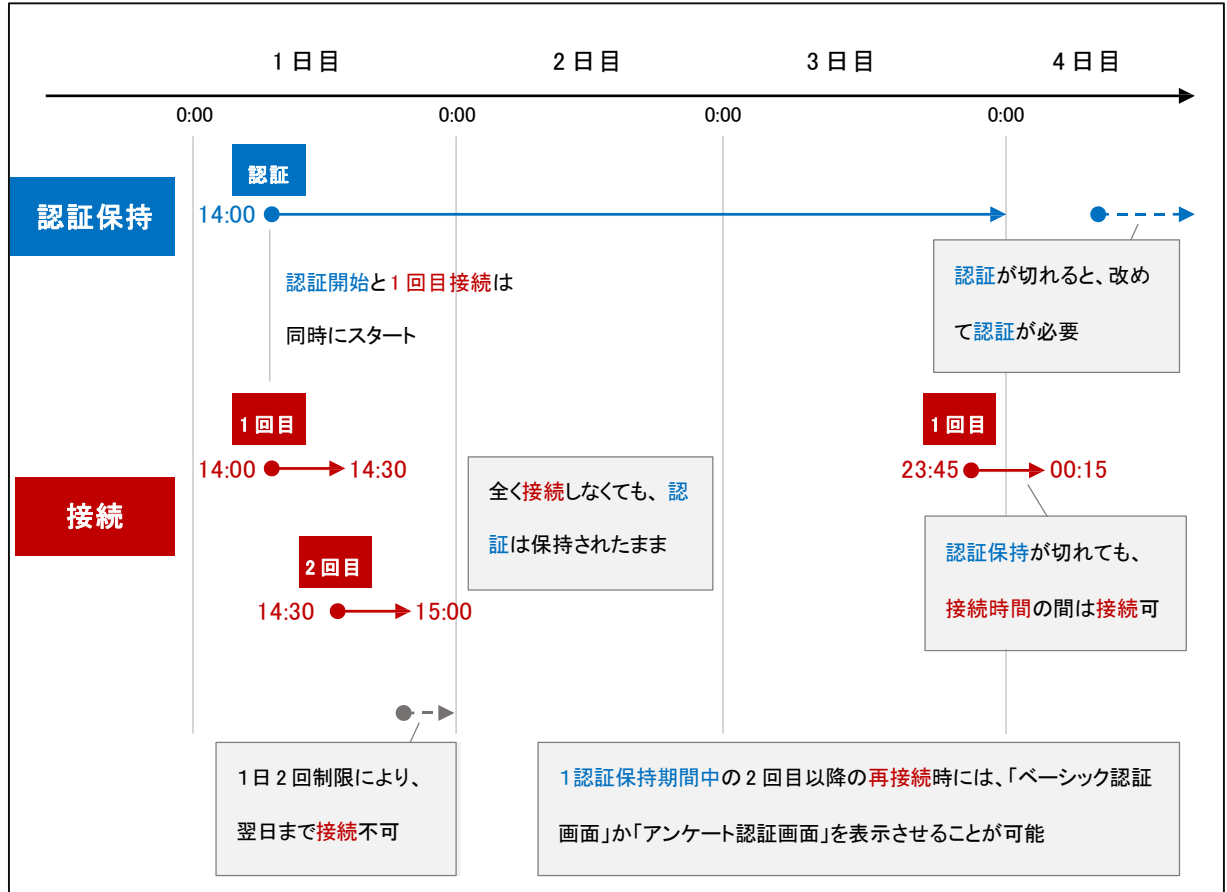
**接続**: インターネット通信をしている(接続)している期間。1回あたりの接続時間を分単位で設定でき、さらに●●日あたり★★回という接続回数制限を設けることができます。

イメージ図)以下設定の場合

接続回数/期間 : 2 回/1 日

接続時間 : 30 分

認証保持期間 : 3 日



## 2.8. 認証設定の確認/変更

エンドユーザに対して適用する認証方式や、認証方式ごとの接続回数／時間などを確認および変更が可能です。

確認・設定方法)

POPCHAT@Cloud 管理画面メニュー設定方法)「左メニュー」→「認証設定」→「認証方式」の各項目

営業時間	1	<input checked="" type="checkbox"/> 営業時間を設定する 09 時 00 分 ~ 18 時 00 分
認証方式	2	<input checked="" type="checkbox"/> メンバー認証 接続回数/期間: 3回 / 1日 接続時間: 0 時間 15 分 認証保持期間: 1 日 サーバURL: <input type="text"/>
		<input checked="" type="checkbox"/> OPENID認証 接続回数/期間: 3回 / 1日 接続時間: 0 時間 15 分 認証保持期間: 1 日
		<input type="checkbox"/> アンケート認証
		<input checked="" type="checkbox"/> メールアドレス認証 接続回数/期間: 無制限 / 無期限 接続時間: 0 時間 10 分 認証保持期間: 1 日
		<input checked="" type="checkbox"/> コールバック認証 接続回数/期間: 3回 / 1日 接続時間: 0 時間 30 分 認証保持期間: 1 日
2回目以降	3	<input checked="" type="radio"/> ベーシック認証画面を表示 <input type="radio"/> アンケート認証画面を表示
リダイレクト先URL	4	<input checked="" type="radio"/> 設定しない <input type="radio"/> 言語共通で設定する <input type="radio"/> 言語別で設定する
更新		

設定項目)

No	名称	内容
1	営業時間	<p>エンドユーザが本サービスを利用可能な時間帯を設定します。</p> <p>ここで設定した時間帯以外に利用すると、エンドユーザ端末に利用時間外である旨のメッセージが表示されます。</p>
2	認証方式	<p>エンドユーザに提供する認証方式を設定します。</p> <p>認証方法ごとに接続回数/期間、1回あたりの接続時間、認証保持期間を設定するこ</p>

		とが可能です。 複数の認証方式を設定した場合、エンドユーザはその複数の方式から任意の認証方式を選択する「認証選択画面」が表示されます。
3	2 回目以降	エンドユーザが 2 回目以降利用する際に適用される認証方式を選択します。 ※アンケート認証を利用しない場合はベーシック認証のみ。
4	リダイレクト先 URL	設定しない : <b>POPCCHAT</b> 本体のリダイレクト先 URL 設定に従います。 言語共通で設定する : 全ての言語で同一の URL を表示します。 言語別に設定する : 言語別に別々の URL を表示します。 ※ <b>POPCCHAT</b> 本体と@クラウドの両方に設定されている場合は <b>POPCCHAT</b> 本体の設定が優先されます。

※ 設定更新すると、即時反映されますのでご注意ください。

## 2.9. シスログ転送先サーバ設定の確認／変更

**POPCCHAT@Cloud** で、シスログ転送オプションをお申込みいただいている場合、シスログの転送先サーバ（外部）のアドレスを設定することができます。

確認・設定方法）

**POPCCHAT@Cloud** 管理画面メニュー

「左メニュー」→「アカウント情報」→「サーバ情報」

The screenshot shows a web interface with a tab labeled 'サーバ情報' (Server Information). Below the tab, there is a section for 'ログサーバ(転送先)' (Log Server (Transfer)). It displays 'IP : 54.65.200.127' next to a text input field. A small black box with the number '1' is visible on the right side of the interface.

設定項目）

No	名称	内容
1	ログサーバ(転送先)IP	シスログを転送する宛先のサーバの IP アドレスを指定します。 ※転送先シスログサーバは別途ご用意ください。

## 2.10. 認証画面設定の確認／変更

POPCHAT@Cloud でエンドユーザ端末に表示する認証画面に関して確認、および設定変更が可能です。

確認・設定方法)

POPCHAT@Cloud 管理画面メニュー

「左メニュー」→「認証設定」→「認証画面」

設定項目)

No	名称	内容
1	使用言語の選択	標準: 日本語(必須)、英語、韓国語、中国語(簡体字)、中国語(繁体字)の5言語 12か国語オプション: 標準+フランス語、ロシア語、スペイン語、マレー語、タイ語 ポルトガル語、ドイツ語
2	テンプレートの確認	各言語の認証画面の表示内容を確認できます。

## 2.11. 認証画面テンプレートのダウンロードとカスタマイズ

エンドユーザ端末に表示する認証画面テンプレートをダウンロード、アップロードが可能です。

確認・設定方法)

POPCHAT@Cloud 管理画面メニュー

「左メニュー」→「認証設定」→「認証画面」

操作項目)

No	名称	内容
1	ダウンロード	「ダウンロード」ボタンを押下すると、現在設定されている認証画面テンプレートのダウンロードを開始します。

※「認証画面テンプレート.tar.gz」ダウンロード完了後を解凍してください。

## ■「認証画面テンプレート.tar.gz」に含まれるデータ

Custom/

└ css/

└ image/

└ js/

└ templates/

フォルダ説明)

No	名称	内容
1	CSS	スタイルシートはここに保存してください。
2	image	画像ファイルを保存してください
3	js	.Js ファイルを保存してください。
4	Templates	認証画面テンプレートを保存してください。 ※各テンプレートのファイル名称は変更しないでください。

※フォルダ構成を変えると正常に動作しなくなります。決してフォルダ構成を変更しないでください。

## 2.12. 認証画面テンプレートのアップロード

編集した認証画面テンプレートをアップロードし、認証画面として適用します。

設定方法)

**POPCHAT@Cloud** 管理画面メニュー

「左メニュー」→「認証設定」→「認証画面」

テンプレートの更新

ファイルを選択

アップロード

※認証画面テンプレートを更新します。

**1** 注意事項)

- ・テンプレートのディレクトリ構成は変更しないでください。
- ・登録の際、テンプレートは、tar.gz形式で圧縮してください。
- ・圧縮後のテンプレートのファイルサイズが 1000KB以上  
のものは登録できません。

**2**

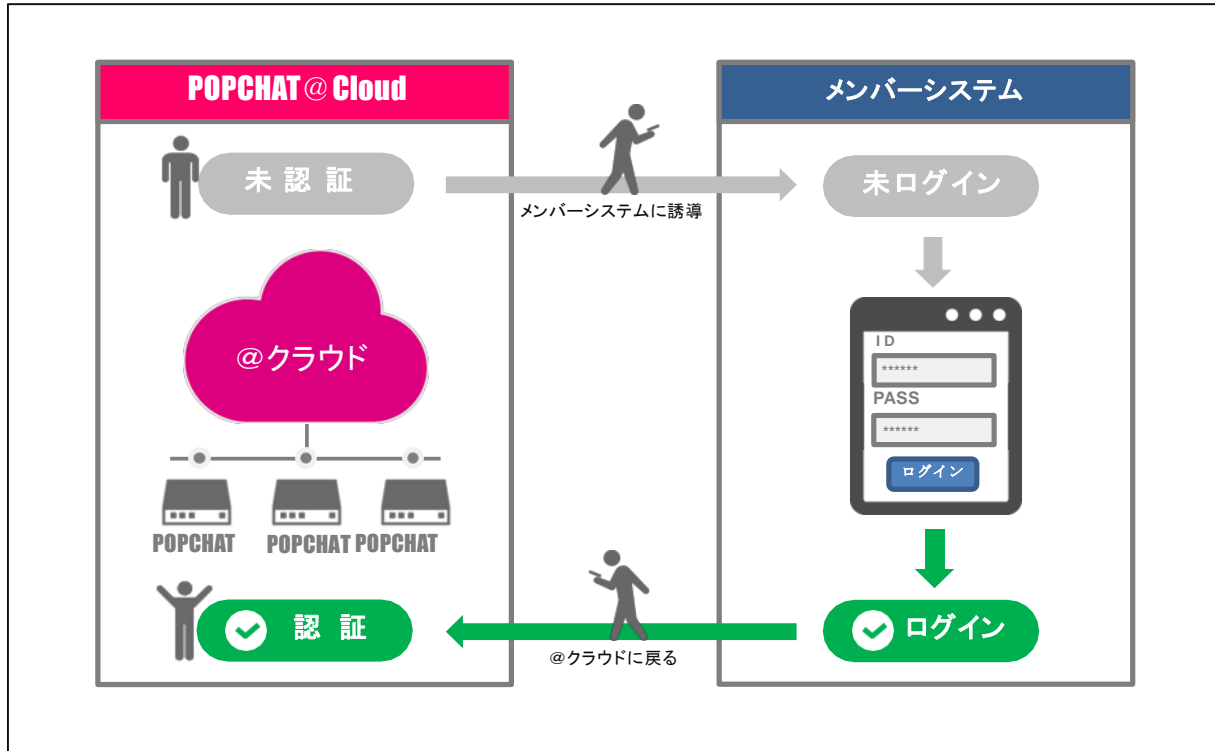
操作項目)

No	名称	内容
1	ファイルを選択	「ファイルを選択」ボタンを押下し、アップロードしたい認証画面テンプレートを選択してください。 ※作成した認証画面テンプレートは「tar.gz」形式に圧縮しておいてください。
2	アップロード	「アップロード」ボタンを押下すると、選択した認証画面テンプレートがアップロードされます。

### 3. 認証方式1－メンバー認証

外部のメンバーシステムと連携し、エンドユーザの認証を行う認証方式です。

イメージ図)



#### 3.1. メンバー認証ご利用にあたって準備が必要なもの

メンバー認証をご利用いただくには、以下のシステム／機能が必要となります。

必要なシステム)

メンバーシステム	任意の ID、パスワード等でログインするための画面を表示し、ログイン可否を判断することができる Web システム。
----------	---

必要な機能)

ログイン機能	任意の ID、パスワードによるログイン機能
リダイレクト機能	ログイン成功時に、認証／接続開始エンドポイントへ利用者をリダイレクトさせる機能。

※パラメータなどの仕様に関しましては別紙「WiFi認証@クラウド メンバー認証仕様書」をご参照ください。



### 3.2. メンバー認証サービス設定

メンバー認証サービスを有効にします。

確認・設定方法)

POPCHAT@Cloud 管理画面メニュー

「左メニュー」→「認証設定」→「認証設定」

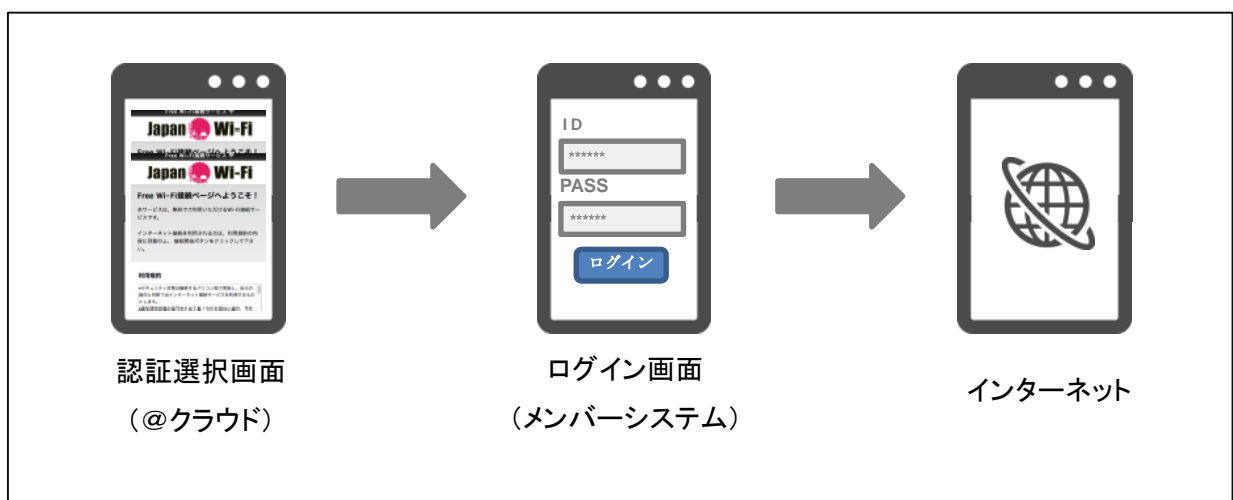
操作項目)

No	名称	内容
1	メンバー認証	メンバー認証の☑を入れてください。
2	サーバ URL	外部認証メンバーシステムの URL を入力してください。

※上記項目に入力し、画面下部の「更新」ボタンを押下すると反映されます。

### 3.3. メンバー認証時の画面遷移

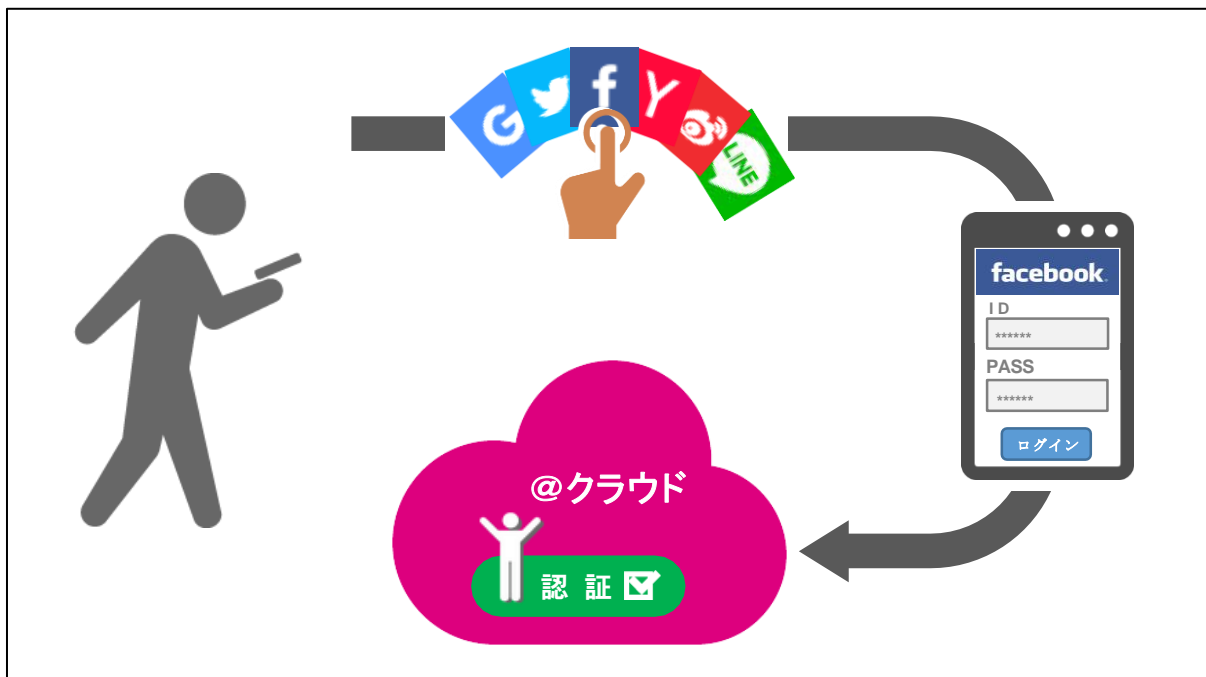
メンバー認証では、エンドユーザがブラウザを介して、POPCHAT@Cloud、及びメンバーシステムで表示される各画面に遷移していくことで認証が行われます。



## 4. 認証方式2－OPEN-ID 認証

Facebook・Twitter・Yahoo!・Google・Weibo・LINEのSNSアカウントと連携し、エンドユーザの認証を行なう認証方式です。

イメージ図)



### 4.1. OPEN-ID 認証の設定

OPEN-ID 認証を有効にします。

設定方法) 「認証設定」→「認証設定」→「OPEN-ID 認証」

「OPEN-ID 認証」にチェックを入れ「更新ボタン」をクリック

操作項目)

No	名称	内容
1	OPEN-ID 認証	OPEN-ID 認証の☑を入れてください。

※上記項目に入力し、画面下部の「更新」ボタンを押下すると反映されます。

## 4.2. OPEN-ID 認証画面の表示と操作

Facebook のアカウントを利用して認証する場合の操作方法を例示します。

<p>1.</p> <p>Facebook のロゴボタンを タップします。</p>		<p>2.</p> <p>表示された Facebook の 認証画面に Facebook アカ ウントのログインIDとパス ワードを入力し「ログイン」 ボタンをタップすると認証さ れます。</p>	
---	---	--	---

※他のアカウントを利用する場合も、基本的な操作方法は変わりません。

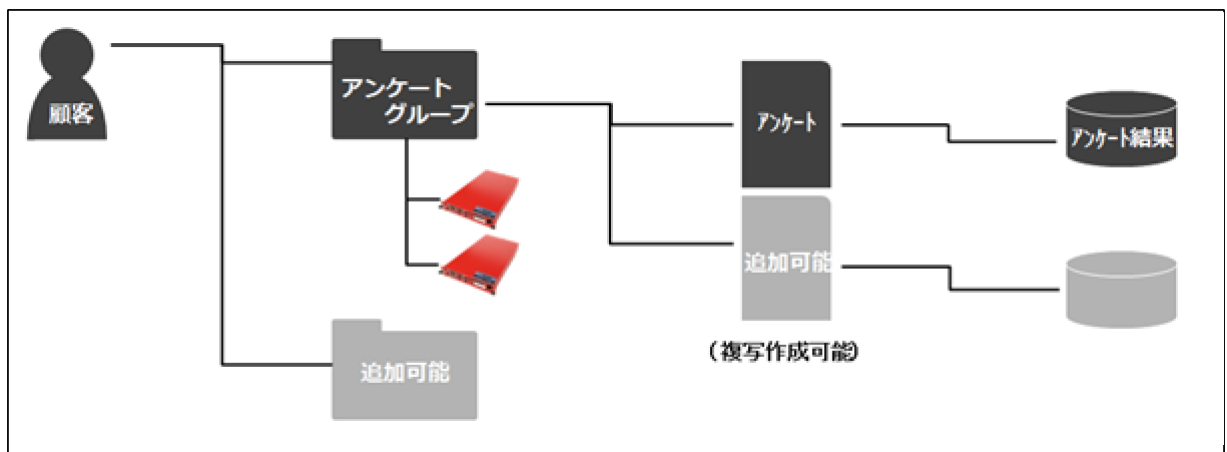
## 5. 認証方式3－アンケート認証

あらかじめ作成したアンケートに回答することで、エンドユーザの認証を行なう機能です。

アンケート結果は、作成したアンケートごとに蓄積されます。

※ 本機能は、個別サービスにて、「アンケート認証」が有効な場合のみ、機能します。

イメージ図)



アンケートグループ	アンケートグループ単位にアンケート作成/表示することが可能です。
各種アンケート	アンケートグループに対し、基本アンケート・アンケート・告知を設定できます。
アンケート結果	アンケートごとに結果を簡易集計します。CSV ファイルダウンロードも可能です。

### 5.1. アンケート認証の設定

アンケート認証を有効にし、アンケートサーバ URL を設定します。

確認・設定方法)

POPCHAT@Cloud 管理画面メニュー

「左メニュー」→「認証設定」→「認証設定」

操作項目)

No	名称	内容
1	アンケート認証	アンケート認証の☑を入れてください。

2	サーバ URL	「アンケート管理システム」のマニュアルをご参照ください。。
---	---------	-------------------------------

※上記項目に入力し、画面下部の「更新」ボタンを押下すると反映されます。

## 5.2. アンケート認証画面の表示と操作

アンケート管理システムで作成されたアンケート画面が設定（期間、時間帯など）により表示されます。

1.

アンケートタイトルと利用規約が表示されます。※

2.

認証画面をスクロールし「アンケート認証を利用する」ボタンをタップします。

3.

アンケート画面に用意されたアンケートに全て回答します。

4.

「ご利用規約に同意して接続する」ボタンをタップし、認証を行ないます。

※認証方式にアンケート認証のみを設定している場合は、3. のアンケート画面から表示されます。

## 6. 認証方式4－メールアドレス認証(本人確認)

エンドユーザがメールアドレスを登録することで認証を行なう機能です。

メールアドレス認証には、登録されたメールアドレスに対し、実際に「確認メール」を送信して「本人確認」を行なうものと、「確認メール」を送信せずメールアドレスの登録のみで認証を行う「確認無し」の2種類の方式があります。

ここでは、メールアドレス認証(本人確認)について記載します。

※ 本機能は、個別サービスにて、「メールアドレス認証(本人確認)」が有効な場合のみ、機能します。

### 6.1. メールアドレス認証の設定

メールアドレス認証を有効にします。

確認・設定方法)

**POPCHAT@Cloud** 管理画面メニュー

「左メニュー」→「認証設定」→「認証設定」

操作項目)

No	名称	内容
1	メールアドレス認証	メールアドレス認証の☑を入れてください。

※上記項目に入力し、画面下部の「更新」ボタンを押下すると反映されます。

### 6.2. SMTP サーバ設定

メールアドレス認証(本人確認)では、エンドユーザに対して確認メールを送信する際の、送信元メールアドレス、SMTP サーバなどを独自に設定することができます。

※ 独自設定を利用しない場合、本サービスの標準設定である「[noreply@popchat.jp](mailto:noreply@popchat.jp)」から確認メールが送信されます。

確認・設定方法)

**POPCHAT@Cloud** 管理画面メニュー

「左メニュー」→「認証設定」→「メール設定」

[認証設定](#)
[メール設定](#)
[ゲートウェイ](#)
[認証画面](#)
[認証保持](#)
[接続状況](#)
[接続履歴](#)
[トークン](#)
[初期化](#)

SMTP設定

独自設定

1

☒ 使用する

SMTPサーバ設定

サーバ:ポート

2

mail.sample.jp

:

25

アカウント

3

sample

パスワード

4

.....

SMTP認証

5

☐ 有り ☒ 無し

送信メール設定

送信元メールアドレス

6

info@sample.jp

メール送信テスト

空メール送信先

7

test@sample.jp

(※ 更新完了時に、この宛先に対して空メールを送信します)

更新

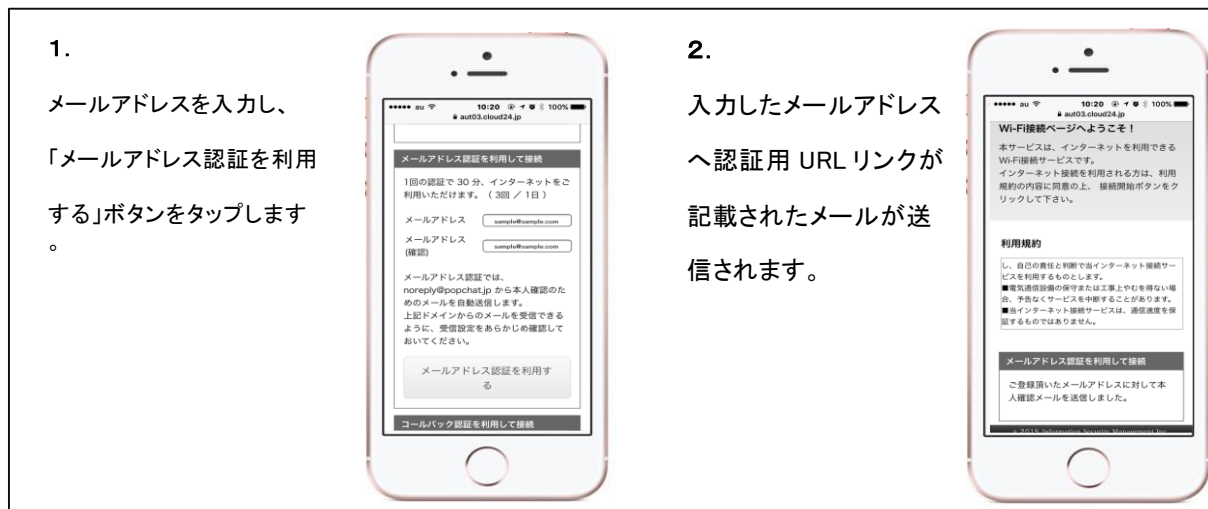
設定項目)

No	名称	内容
1	独自設定	「確認メール」の送信元メールアドレスを設定する場合には☑を入れてください。
2	サーバ:ポート	SMTP サーバのサーバアドレス、およびポートを設定します。
3	アカウント	アカウントを設定します。
4	パスワード	パスワードを設定します。
5	SMTP 認証	SMTP 認証の有無を設定します。
6	送信元メールアドレス	送信元メールアドレスを設定します。
7	空メール送信先	メール設定完了時に、登録された SMTP サーバ／送信元メールアドレスより、空メールを送信することができます。 SMTP サーバの設定が正常に設定されているかどうかの確認の際にご利用ください。

※上記項目に入力し、画面下部の「更新」ボタンを押下すると反映されます。

### 6.3. メールアドレス認証画面と操作

メールアドレス認証の操作手順は以下のとおりです。



エンドユーザが受信した「確認メール」には、文中に認証用 URL リンクが記載されています。

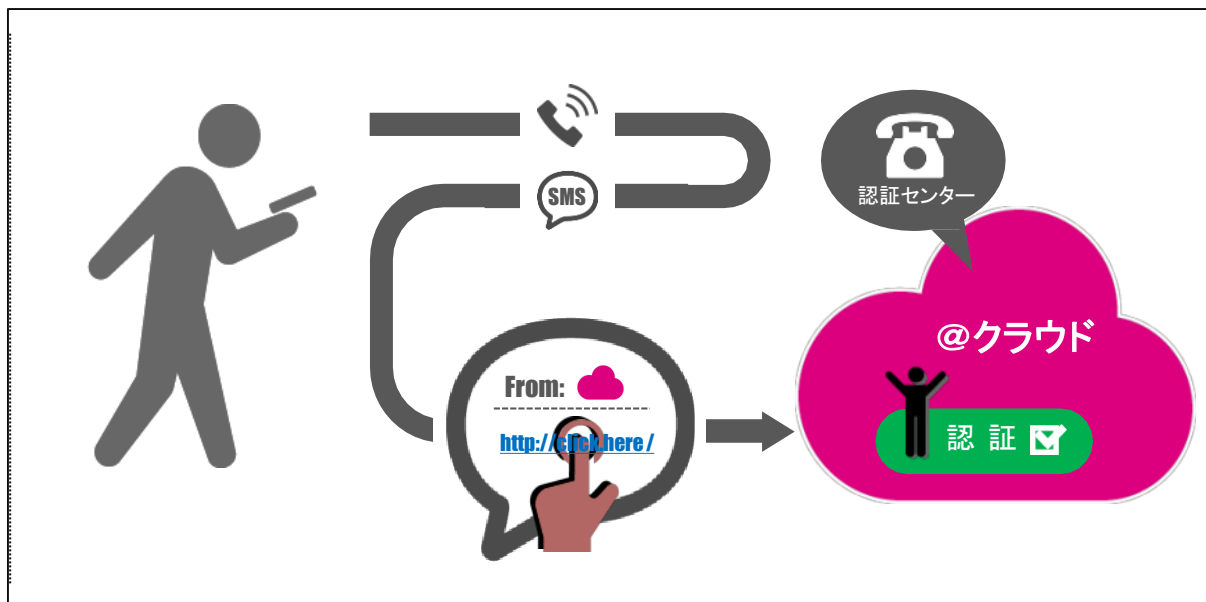
この URL にアクセスすると認証が完了し、インターネットへの接続が可能となります。





## 7. 認証方式5ーコールバック認証(SMS認証)

エンドユーザの端末(スマートフォン)より特定の電話番号へ発信し、発信元の電話番号に対して送信された SMS を利用して登録することで認証を行う機能です。



エンドユーザの端末から特定の@クラウド認証センターに電話をかけると、@クラウドから SMS が送信されてきます。そのメッセージ内に記載されている URL をクリックすることで、認証@クラウドでの認証が完了します。

※ 本機能は、個別サービスにて、「コールバック認証」が有効な場合のみ、機能します。

### 7.1. コールバック認証の設定

コールバック認証を有効にします。

確認・設定方法)

POPCHAT@Cloud 管理画面メニュー

「左メニュー」→「認証設定」→「認証設定」

<input checked="" type="checkbox"/> コールバック認証 <b>1</b>		
接続回数/期間 <input type="text" value="3"/> 回 / <input type="text" value="1"/> 日	接続時間 <input type="text" value="0"/> 時間 <input type="text" value="30"/> 分	認証保持期間 <input type="text" value="1"/> 日

設定項目)

No	名称	内容
1	コールバック認証	コールバック認証の☑を入れてください。

## 7.2. コールバック認証画面と操作

コールバック認証の操作手順は以下のとおりです。



エンドユーザが受信した SMS 文中に記載されている認証用 URL リンクにアクセスすると認証が完了し、インターネットへの接続が可能となります。



※ご利用の携帯電話会社での制限により、SMS が届かない場合がございます。その際は他の認証方法をご利用ください。

## 8. 認証方式6ーアクセス ID 認証

アクセス ID 認証とは、事前に接続回数や接続時間等を設定した「アクセス ID」を発行し、その「アクセス ID」で認証を行う、WiFi 認証@クラウド(以降、@クラウド)で利用可能な認証方法の一つです。

### 8.1. アクセス ID の接続方式について

アクセス ID 認証は接続方式ごとに「接続時間」と「有効回数」を設定することができます。

#### ■ アクセス ID の接続方式

接続方式	詳細
時間指定	「1 回あたり何分間」で「何回」インターネット接続が利用可能かを設定することができます。 例) 1 時間 30 分 x 5 回 まで
時刻指定	「何時から何時まで」で「何回」インターネット接続が利用可能かを時間帯で設定することができます。 例) 12 時 00 分～18 時 00 分、3 回まで
期間指定	「何月何日何時何分から何月何日何時何分まで」で「何回」インターネット接続が利用可能かを期間で設定することができます。 例) 2016 年 9 月 1 日 9 時 00 分 ～ 9 月 30 日 18 時 00 分、1 回のみ

※ 1 つのアクセス ID を複数の端末で利用する場合は、端末ごとに何回ではなく、複数の端末で利用した「のべ回数」でカウントされます。

## 8.2. アクセス ID の発行について

アクセス ID はクラウドアカウント管理画面から「アクセス ID」を選択することで設定画面が表示されます。

アクセス ID を発行する際に設定可能な項目は以下となります。

種類	詳細
① アクセス ID 名称	<p>どういった目的でそのアクセス ID を発行したか、名称を設定します。</p> <p>例) 一般来訪者向け</p>
② 先頭コード	<p>アクセス ID は、先頭 3 文字を指定します。</p> <p>先頭コードを指定すると、その後にランダムで 5 桁の数字が付与された状態でアクセス ID が発行されます。</p> <p>例) 先頭コードを PWD とすると、「PWD15261」のような ID となります。</p>
③ 有効ゲートウェイ	<p>アクセス ID の利用場所 (POPCHAT) を指定することができます。</p> <p>例) POPCHAT2 台のうち、1 台は来客用、1 台をスタッフ用とするような場合</p>

	に、スタッフ用でのみ利用可能なアクセス ID を発行する、等。
④ 有効期間	<p>利用する接続方式と、それぞれの接続時間を指定します。</p> <p>※ 接続方式ごとの接続時間、及び回数(端末数)については「8.1 アクセス ID の接続方式について」を参照のこと。</p>
⑤ 有効回数	<p>アクセス ID で利用可能な回数を設定します。</p> <p>※ 接続方式ごとの接続時間、及び有効回数については「8.1 アクセス ID の接続方式について」を参照のこと。</p>
⑥ 認証保持期間	<p>アクセス ID を利用して認証を行った際に、何日間認証を保持するかを設定します。(2 回目はアンケートに回答させたい場合などに利用)</p>
⑦ 発行数	<p>アクセス ID を同時にいくつ発行するかを設定します。</p>

### 8.3. アクセス ID 認証の認証保持について

アクセス ID 認証を利用した際に、何日間認証を保持するかは、アクセス ID ごとに設定された認証保持期間が適用されます。(その他の認証方式での認証保持の考え方と同様です)

認証保持期間は、接続方式ごとに扱いが異なります。

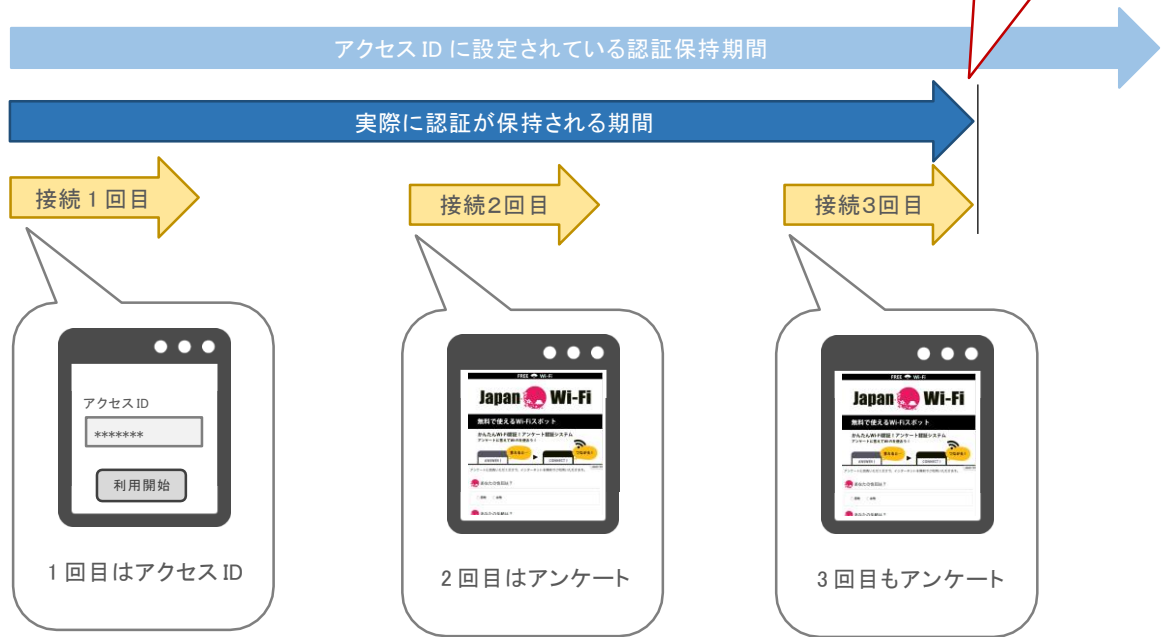
接続方式	認証保持期間の扱い
時間指定	<p>認証を「何日」保持するかを設定します。</p> <p>有効回数を全て使い切った時点で、認証保持期間の設定に関わらず、接続終了日時に認証は解除されます。</p>
時刻指定	<p>認証を「何日」保持するかを設定します。</p> <p>有効回数を全て使い切った時点で、認証保持期間の設定に関わらず、接続終了日時に認証は解除されます。</p>
期間指定	<p>認証保持期間を設定することは出来ず、</p> <p>期間の終了日時まで認証が保持されます。</p>

例) 時間指定、もしくは時刻指定の場合の認証保持(2回目以降はアンケート利用)

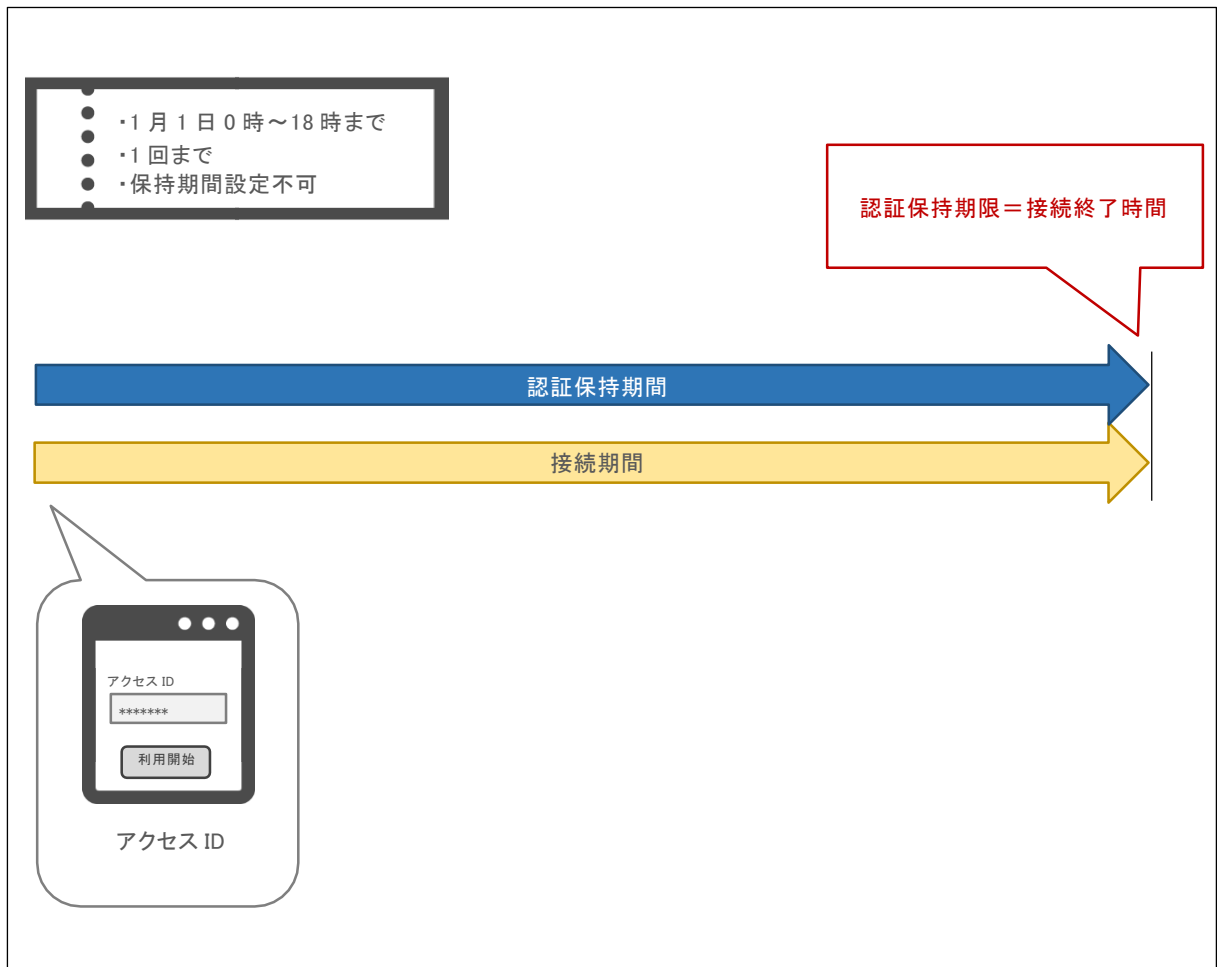
■ 発行されたアクセス ID

- ・1時間30分まで
- ・3回まで
- ・7日間認証保持

■ 認証の動き



例) 期間指定の場合の認証保持(アンケート利用)



#### 8.4. アクセス ID の削除と認証保持について

アクセス ID を削除すると、そのアクセス ID を利用した際に保持されている認証は、その時点で全て解除されます。(接続はその場で解除されず、接続終了予定時間に解除されます)

#### 8.5. 発行アクセス ID の印刷

発行したアクセス ID を利用ユーザーに周知する際、発行アクセス ID を印刷して配布できます。印刷したいアクセス ID にチェックを入れて、「印刷画面を表示」を選択します。

認証設定    メール設定    ゲートウェイ    認証画面    認証保持    接続状況    接続履歴    トークン <b>アクセスID</b> モード切替    初期化							
新規登録							
							CSV出力
<input checked="" type="checkbox"/>	発行日時	名称	アクセスID	ゲートウェイ 指定	有効期間	有効回数	認証 保持期間
<input checked="" type="checkbox"/>	2017-04-11 18:31	test	abc02316	指定しない	1時間 30分	00 / 01 回	1日
<input checked="" type="checkbox"/>	2017-04-11 18:33	test	abc09369	指定しない	1時間 30分	00 / 01 回	0日
アクセスID削除							
							印刷画面を表示

以下のようなアクセス ID 一覧が表示されるのでプリントを選択することで印刷されます

日本語での表示

▼ プリント

test

(アクセスID) abc02316

有効期間 1時間 30分

※ インターネット接続開始画面にアクセスIDを入力して下さい。

※ ご利用可能回数：1

test

(アクセスID) abc09369

有効期間 1時間 30分

※ インターネット接続開始画面にアクセスIDを入力して下さい。

※ ご利用可能回数：1

## 9. 認証保持

エンドユーザが使用した認証方式の保持状況を確認する機能です。

### 9.1. 認証保持

確認・設定方法)

**POPCHAT@Cloud** 管理画面メニュー

「左メニュー」→「認証設定」→「認証保持」

認証設定   メール設定   ゲートウェイ   認証画面   認証保持   接続状況   接続履歴

認証保持数(現在 / MAX)   1 / 600

No	MAC	1	認証日時	2	保持期限	3	認証方式	4
1	70:72:3C:4 : 2: 5		2016-10-11 10:59:40		2016-10-11 23:59:59		OPEN-ID認証	

表示項目)

No	名称	内容
1	MAC	認証された端末の MAC アドレス
2	認証日時	認証された日時
3	保持期限	使用された認証方式を保持する期限
4	認証方式	認証時に使用された認証方式



## 10. 接続状況の確認

現在、接続を許可しているエンドユーザ端末情報を確認する機能です。

端末の接続状態を手動で解除することも可能です。

### 10.1. 接続状況

確認・設定方法)

**POPCHAT@Cloud** 管理画面メニュー

「左メニュー」→「認証設定」→「接続状況」

認証設定	メール設定	ゲートウェイ	認証画面	認証保持	接続状況	接続履歴			
前月分の接続履歴をDL		1							
No	ゲートウェイ	2	MAC	3	接続開始	4	接続終了	5	
1	U00200385		70:72:3C:4 : 2: 5		2016/10/11 10:59:50		2016/10/11 11:59:41		接続終了 6

表示項目)

No	名称	内容
1	前月分の接続履歴を DL	前月分の接続履歴が CSV ファイルでダウンロードできます。
2	ゲートウェイ	エンドユーザ端末が接続している <b>POPCHAT</b> のユーザーID です。
3	MAC	エンドユーザ端末の MAC アドレスです。
4	接続開始	エンドユーザ端末がネットワークを利用(接続)開始した時間です。
5	接続終了	エンドユーザ端末の接続有効期限です。
6	接続終了ボタン	接続終了を待たず、接続を強制終了させることができます。

## 11. 接続履歴

指定期間の接続履歴を確認する機能です。

### 11.1. 接続履歴

確認・設定方法)

**POPCHAT@Cloud** 管理画面メニュー

「左メニュー」→「認証設定」→「接続履歴」

<a href="#">認証設定</a> <a href="#">メール設定</a> <a href="#">ゲートウェイ</a> <a href="#">認証画面</a> <a href="#">認証保持</a> <a href="#">接続状況</a> <a href="#">接続履歴</a>							
期間: 2016 年 10 月 01 日 ~ 2016 年 10 月 11 日 <span>検索</span> ※ 500件まで表示							
No	ゲートウェイ	MAC	接続開始	接続終了	認証方式	OS/デバイス/アプリ	
1	U00200385	70:72:3C: :C2:	2016-10-11 10:59:40		OPEN-ID認証	Android/Generic Smartphone/Chrome	
2	U00200772	4C: :CA: B: 5:7	2016-10-06 11:19:44	2016-10-06 12:20:02	メールアドレス認証	iOS/iPhone/Mobile Safari	
3	U00200772	4C: :CA: B: 5:7	2016-10-05 17:46:56	2016-10-05 18:47:02	ベーシック認証	iOS/iPhone/Mobile Safari	
4	U00200772	F8:16:54:8 : 4:D7	2016-10-05 17:39:16	2016-10-05 18:39:25	OPEN-ID認証	Windows/---/Firefox	
5	U00200772	34:95: :2A: :CF	2016-10-05 17:33:33	2016-10-05 18:34:02	ベーシック認証	Windows/---/Firefox	

表示項目)

No	名称	内容
1	期間	認証履歴の期間を指定し、検索することができます。
2	ゲートウェイ	エンドユーザ端末が接続した <b>POPCHAT</b> のユーザーID
3	MAC	エンドユーザ端末の MAC アドレスです。
4	接続開始	エンドユーザ端末がネットワークに接続開始した時間
5	接続終了	エンドユーザ端末がネットワークから切断した時間(空白の場合は、利用中)
6	認証方式	接続時に使用された認証方式
7	OS/デバイス/アプリ	端末の OS/端末種類/ブラウザの種類

## 12. 災害時モードの利用 (LG-POPCHAT シリーズのみ)

災害発生時のインフラとして、事前に設定した災害時用の認証設定へ切り替える機能です。

LG-POPCHAT シリーズのみが対応しています。

### 12.1. 災害時用の認証方式設定

確認・設定方法)

POPCHAT@Cloud 管理画面メニュー

「左メニュー」→「認証設定」→「災害時タブ」→「認証方式」の各項目

表示項目)

No	名称	内容
1	「災害時」タブ	災害時モードの認証方式設定画面に移動します。
2	認証方式	フリー認証 (認証画面無し) またはベーシック認証が利用可能です。
3	リダイレクト先 URL	認証後の端末に表示させる URL を設定可能です。

## 12.2. 災害時モードへの切り替え方法

確認・設定方法)

**POPCHAT@Cloud** 管理画面メニュー

「左メニュー」→「認証設定」→「モード切り替えタブ」の「確認画面へ」ボタンをクリックします。



更新内容の確認画面で「モードを切り替える」ボタンをクリックし、切り替えを完了します。



「平常時モード」へ切り替えする場合も手順は同じです。

※実際に切り替えが有効になるまでには15分程度の時間を要します。

表示項目)

No	名称	内容
1	「モード切替」タブ	平常時・災害時モードの切り替え画面に移動します。
2	現在のモード	現在設定されているモードを表示します。
3	「確認画面へ」ボタン	モード切り替えの確認画面に移動します
4	「モードを切り替える」ボタン	モードの切り替えを実行します。